教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
理科	科学と人間生活	2	一斉	共通	1

教科書（発行所）	高等学校 科学と人間生活（第一学習社）
教科書以外の教材	ネオパルノート 科学と人間生活（第一学習社）

目 標		1 自然現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことができるようにする。 2 科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。		
	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	第Ⅱ章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象	タンパク質のはたらきと構造 遺伝子とDNA タンパク質の合成 血糖濃度の調節 血糖濃度と糖尿病 病原体の排除 ヒトの視覚	期末考查
		第Ⅲ章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用	温度と熱運動 熱容量と比熱	
	2 学期	第Ⅰ章 物質の科学 第1節 材料とその利用	熱の伝わり方 仕事や電流と熱の発生 エネルギーの移り変わり エネルギー資源の有効活用	中間考查
			プラスチックの特徴、分類と用途 さまざまなプラスチック 金属と人間生活 金属とその精錬 金属のさびと合金 資源の再利用	
3 学期	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第1節 自然景観と自然災害	日本列島の成り立ち 火山活動と地表の変化 火山災害と防災 地震活動と地表の変化 地震災害と防災 水のはたらきと地表の変化 気象災害と防災	学年末考查	
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等		1 提出物・宿題は期限をきちんと守る。 2 用語を単独で「暗記」するのではなく自然現象を全体的な流れの中で「記憶」していく。 3 授業ノートは使用せず、プリントに書き込む方式をとる。余白には、黒板に書かれないこともメモすること。 4 現象を分析するときは必要に応じ図を描いて可視化して取り組むこと。 5 予習は教科書を一読することにより、授業に集中し、復習をしっかりと行うこと。 6 既学習の内容は、考查において主体的に学習に取り組む態度として一定量の出題をして評価対象とします。		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	使える	自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 自然現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	日常生活や社会との関連を図りながら自然現象について関心をもち、意欲的に探究しようとする態度を持っている。さらに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
	できる	自然現象について、他の事項と関連付けて理解している。 学習内容の特質に応じた探究の方法を習得している。	自然現象の中に探究活動の課題を探ろうとする。 自然現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりする。
	分かる	自然現象の概念を理解するための重要用語と、その用語に関わる知識を身に付けている。 観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	知識・技能を活用して、課題を解決するための方法に気づき、説明している。
評価の方法	授業時の観察、定期考查、課題確認テスト（小テスト）、課題レポート、週課題、授業に臨む姿勢や意欲及びパフォーマンス評価・自己評価を総合的に評価します。 いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。		